

事務事業名		木造伝統技能者育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	0:1: 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 18 年度 ~ 21 年度 全体計画欄の総投入量を記入		予算科目				
	施策名	0:2: 良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:3: 住宅環境の整備				01	08	06	03	01
根拠法令										
所属	部課名	都市整備部都市計画課								
	係名	建築住宅係	電話 内線	326						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 外部講師2名により、日曜日に年間24回の講座を4年間にわたり開催し、木造伝統技能の教育、実習を行う。 主な業務は、受講生募集、会場使用許可申請、講座テキスト作成、講座実習、材料調達、講師との連絡調整講師謝金等の支払い、加工くず運搬、4年目は堂宮(どうみや)工法・応用編(一関社)等を製作する。 事業費は、講師謝金、教材等の消耗品費等に支出される。						全体計画(期間限定複数年度のみ)				
						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	2,320	
							事業内訳	都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源	7,150	
事業費計(A)	9,470									
人件費	正規職員従事人数	9								
	延べ業務時間	1,700								
	人件費計(B)	6,800								
	トータルコスト(A)+(B)	16,270								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 講座開設(毎月第2、3日曜日)、公園東屋建築繰越工事竣工等。		名称	単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 講座開設(毎月第2、3日曜日)。		ア 講座回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 経験年数10年以上の大工就業者。		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 木造建築の伝統技能を習得する。地元信頼のおける人材を確保しておく。		ウ	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 良質な住宅に住んでもらう。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 受講生数	人
		キ	
		ク	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 講座への延べ出席者数	人
		シ 成果品納入件数	件
		ス 3年間の講座修了認定者数	人

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		1,200		720	400	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		942	3,728	880	1,600	
	事業費計(A)	千円	0	2,142	3,728	1,600	2,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間		600	600	500	500	
		人件費計(B)	千円	0	2,400	2,400	2,000	2,000	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	4,542	6,128	3,600	4,000	0
活動指標		ア	回		21	28	24	24	
対象指標	イ								
	ウ								
	カ	人		15	16	14	14		
成果指標	キ								
	ク								
	サ	人		199	233	200			
	シ	件			1				
	ス	人				13			

事務事業ID	1152	事務事業名	木造伝統技能者育成事業
--------	------	-------	-------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 気仙地区に限らず、新規の木工業者は昭和30から40年代に比べ激減している。そのことから、木工業者は高齢化が進み、優れた木工技術の伝承が危ぶまれた。平成12年から14年までは、気仙大工育成講座を実施しており、平成18年から同様の事業として開始したものである。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 前年度は、成果品を東屋として、市内の公園に設置した。地元紙にも活動が紹介された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 全国的にも珍しい取り組みだ。今のうちに後継者を育成しなければならない。めったにない機会なので、多くを学びたい。プロが見てもすばらしいと言われる作品を作りたい。	

2. 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 良質な住環境を提供するためには、地元大工業者が必要であり、優れた伝統技術を継承することは、その目的に適合している。また、地域産業の振興に寄与することになる。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 工務店のほとんどが就業者数が10人未満であり、業界団体も資金、人材を提供する余裕はない。
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 段階的に実習を行っているため、途中参加することは本来の目的実現に向けては無理がある。
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 受講生は、仕事をもちながら、休日を利用して出席しているので、出席には限界がある。育成講座の開設により優れた伝統技能の継承が図られ、地域産業の振興に寄与する。
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 木工業者の高齢化は、ますます進行し、伝統技能の継承が一段と困難になる。講師の高齢化も懸念される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 職業訓練とは違い、また地方で行っている同様の事業はない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 受講者は、気仙管内に及ぶが気仙地区の他の自治体の資金協力は得られなかった。時間、資金援助は、行政以外は期待できない。また、中心となって活動する人材も高齢化しており、月2回の講座開設を運営するためには、仕事として取り組まないと難しい。それに対する報酬の問題もあり、委託先等の選定もかなり難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 必要最低限の人数で遂行している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 受講生に負担金を課すことは困難である。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 新規大工業者は減り、高齢化が進行している。今、行政が取り組まないと優れた技術が失われていく恐れがある。資金を民間から集めることも難しい。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持      事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 4年目の実施に向けて今年度中に事業の方向性を検討する。実施するとした場合、東屋建築を除き今年度同様に事業を実施する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 平成20年度は、県の報酬基準の見直しに準じ、講師の報酬単価を見直した。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	都市計画課長
-------	--------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)  <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい  <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)  <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)  <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 木造伝統技能の習得により、気仙大工技能の継承が図られる。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持      事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 木造伝統技能者育成講座を通じて大工技能者を育成し、伝統技能の継承と地域産業の振興を図る必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------